

そうじゃ総合教育会議会議録

令和2年4月30日開催

そうじゃ総合教育会議会議録

○令和 2年 4月 30日（木曜日）

1 開 会 令和 2年 4月 30日 午後 2時00分

2 閉 会 令和 2年 4月 30日 午後 2時45分

3 構成員

出席構成員

○総社市長 片岡 聡一 ○教育長 山中 榮輔

○教育長職務代理者 林 直人 ○教育委員 小鍛治 一圭

○教育委員 三宅 眞砂子 ○教育委員 上岡 仁

○教育委員 児島 塊太郎

4 関係者

○副市長 大塚 康裕 ○政策監 中島 邦夫 ○教育部長 服部 浩二

○教育部学校教育課長 井上 徹 ○教育部こども夢づくり課長 小野 玲子

○保健福祉部長 吉田 啓 ○校長会長 能勢 健士 ○校長会副会長 東 長典

○次期教育長 久山 延司

5 事務局

○総合政策部長 脇 奈七 ○政策調整課長 内田 和弘

○政策調整課課長補佐 渡邊 康広 ○政策調整課主査 前原 夕美子

○政策調整課主査 前田 光彦 ○政策調整課主事 下野 知恵

6 会議録署名人

総社市長 片岡 聡一 教育長 山中 榮輔

7 協議事項

（１） 小中学校等における教育活動の再開等について

（２） その他

8 議事経過の概要

次のとおり

開会 午後2時00分

○ 司会（協部長） ただいまから、そうじゃ総合教育会議を開催いたします。

本日の進行を務めさせていただきます、総合政策部長の脇と申します。どうぞ、よろしくをお願いいたします。本日の会議は、新型コロナウイルス感染症における状況を踏まえ、お手元の資料、「そうじゃ総合教育会議の運営について」の2の（2）にございます、児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生じるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に構すべき措置について協議等を行うために開催するものです。まずは、本日の会議等の進め方等についてご説明いたします。お手元の議事次第をご確認ください。本日の協議事項は、「小中学校等における教育活動の再開等について」でございます。この協議についてまずは片岡市長からお考えを述べていただきます。次いで、教育長から教育委員会の方針についてご発言いただきます。最後に意見交換という進行を予定しております。なお、そうじゃ総合教育会議は原則公開で開催することとされており、また議事録を作成して公表することとされております。議事録作成のため、また記録のため、録音をさせていただくこと、広報担当が写真を撮影すること、この2点についてお許しいただければと思いますがよろしいでしょうか。

（異議なし）

ありがとうございます。それでは片岡市長から、教育活動の再開等についてご発言をお願いいたします。

○市長（片岡市長） 皆様、大変お忙しい中、ご苦労様です。「そうじゃ総合教育会議の運営について」の2の（2）にございます、児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生じるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に構すべき措置について、緊急にそうじゃ総合教育会議を招集させていただきましたところ、お繰り合わせをいただきましてありがとうございます。さて、これからの学校のあり方についてでございますが、前回のそうじゃ総合教育会議で皆様方に議論をいただき、山中教育長の考え方として5月6日まで学校を休校することを決させていただきました。登校日を設けながら学校は、休校状態になっております。このゴールデンウィークが明けた後についての議論をこれから皆様方をお願いしたいと思いますが、私は、現時点で学校を再開することは、適切ではないと思います。我々が担当します、中学校3年生以下の義務教育機関において今の状況で学校を再開することは適切ではないと思います。そ

れから、もう一つの考え方として学業の遅れ、特に中学校3年生の保護者から高校受験に対して相当な危惧がでておりますことも確かであります。このことについて何らかの担保を持つことは、我々の急務な課題であります。そこで、善後策を何か打ち出せないものかと思います。その善後策のキーワードとなってくるのが夏休みのあり方です。40日間ある夏休みを我々が一体どう処していくのか、コロナの拡散状態にもよりますけれども現時点で学校を再開しないのであれば、保護者や子供たちに何らかの約束をしたうえで休校にすることが必要だろうと思います。ただ闇雲に、「もう少し待ってね。」と言うのではなく、悪いけれども今休んでいる日にちや授業数は、夏休みを返上してでも穴埋めしていくというメッセージを出すのか出さないのかということが重要になってくると思います。私の考えを聞かれれば、夏休みは、今まで休んだ分を取り戻す時間という考えを持って補完していく、それが現時点の善後策としては、私の一つの考え方であると申し上げさせていただきます。このコロナのあり方で第二の波がくると言われていますが、こういうことも想定しながら闇雲に休み休みと言うのではなく、その休んだ間の授業数は、どこでどう補完していくということを示した上で休校にする。これを私から提言させていただきたいと思います。以後、議論をよろしく願いいたします。

○司会（協部長） ありがとうございます。それでは、続きまして、教育長から教育委員会の方針についてご説明をお願いいたします。

○教育長（山中教育長） コロナウイルスへの対応は、時々刻々と変化しております。これに対して臨機応変に対応するのは、大変難しいことではありますが、キーワードは、子供の命を守ること、授業日数の確保、この2つを両立するために夏休みをどの程度活用できるのかということが大切です。特に中学校3年生は、高校受験を控えておりますので何とかしたいと考えております。本日は、校長会から能勢会長、東副会長にお越しいただいておりますのでご意見を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

○司会（協部長） それでは、教育長からお話もございましたので能勢会長よりご意見ををお願いいたします。

○校長会会長（能勢会長） 私からは、小学校の立場からお話しさせていただきます。教職員は、頻繁ではありませんが自宅勤務制度を実施しています。教育委員会から配信いただいている家庭学習のポータルサイトにより、未知なる新しい学習内容においても家庭で深く自習が少しずつでも進んでいるという現状に心より感謝申し上げます。

そして、児童が登校していない学校で教職員が何をしているかを申し上げますと、登校日に備えた教材研究、校内の消毒、学級園の整備、ポータルサイトの動画制作、事務処理、緊急児童クラブの受け入れなど多忙な日々を過ごしています。さて、本題ですけれど、私の個人的な意見ですが、5月7日、5月8日については、3校時、給食なしで登校日にしていただきたい。それから、5月11日以降は、休校が延長になるのはやむを得ないと思います。しかし、お願いですが、最低でも週1日の登校日を設けていただきたい。その理由ですが、あまりに長い休校が続いていますので児童の顔を見て健康状態を把握したいという願いがあります。その中でももちろん熱が高い児童は、登校しないことになっています。それから、家庭生活が規則正しくできているのかということを教職員はいつも不安に思っています。家で何をしているのだろうかと思いながらいつも仕事をしています。登校日があることで生活習慣の見直しができます。また、3時間、4時間でも遅れた学習に少しでも充てることができると思います。夏休みについては、市長も言われた通り返上もやむを得ないと思います。登校日が必要と言いましたが、もし総社市に感染者が出た場合は、考え直さないといけないと思います。以上です。

○司会（協部長） ありがとうございます。続きまして、東副会長、ご意見お願いいたします。

○校長会副会長（東副会長） 中学校の立場から大きく2点について申し上げます。1点目は、生徒指導や要保護児童対策です。2点目は、学力保障です。中学生が家にいることが長くてストレスが溜まっている。情緒面で不安がある子供は、家で暴れて困っている。薬を変えるなど対応をしているが大変だと聞いている。それから、ゲーム依存です。どうしてもゲームの時間が長くなっている。オンラインの対戦型のゲームで起きるトラブルですが、相手を倒すゲームの時に倒して既に決着が着いたのにさらにダメ押しの攻撃をすることで相手の子供がキレてしまって、今度、学校で会ったら危害を加えるぞ、という内容のメールが送られてくる。これを保護者が学校に相談に来られる。学校でのことではないが、結局、学校に相談に来られて対応に追われる。要保護児童対策の面で言うと虐待の心配がある家庭もございます。それから、虐待ケースでなくとも保護者が子供とずっといることが多いと限られた狭い空間の中でお互いの息遣いやちょっとした咳払いが気になって親子の間で非常に陰悪なムードになってしまうことがある、というような相談も受けております。そういうことから中学校としても休校延長は、や

むを得ないと思いますが、登校日をできるだけ設けていただきたいと思います。学力の面ですけれども中学生くらいになりますと学習塾に通っている子供もいます。学習塾もやっているところがありますので定期的に続けている子供は、学習面の後退は、できるだけ最小限で済んでいる。そうではない子供たちは、大変な問題であります。それから地域的にも例えば、昭和中の地域には学習塾がございません。なかなか街の中の学習塾に行っている子供はいません。また、自分で自分を律することができる子供とそうでない子供との格差は、開く一方です。そういうことから、できるだけ登校日で授業を進めていくことを認めていただければと思います。小学生・中学1年生・中学2年生と中学3年生は、私は、分けて考えないといけないと思っています。命を守る安全面も大事ですが他の学年は学力保障ですが、中学3年生は進路保障です。中学3年生は、高校入試で勝負する他市の子供たちとの格差も気になってきます。他市では、4月も着々と授業を進めているところもありますので非常に心配です。当然、夏休みは、全部授業するくらいの覚悟でおりますけれども、それでも追いつかないです。この後、5月もこのような状況が続くと、とても追いつきません。ですので、夏休みもがんばりますが中学3年生については、週に3日、4日登校日を設けるなど分けて考えていただきたいと思います。以上です。

○司会（協部長） ありがとうございます。今までのお話の中でも休業延長の話、登校日の話、夏休みの扱いの話、中学3年生の扱いの話がございました。他に、ご意見ございますか。

○教育委員（三宅委員） 3月から休校になりまして小児の感染症はすごく減っております。4月に関して言えば、昨年の4割でございます。病気の面から言えば、総社の子供たちは、未だかつてないくらい病気に罹っておりません。しかし、先生方からご意見がありましたようにイライラ、家族との関係、ゲーム依存など新たな問題がでてきます。これらに対して、学校の方にも相談があるということで対応して下さっているのはたいへんありがたいことです。こういうことも考えると登校日は、必要ではないかと思います。以上です。

○司会（協部長） ありがとうございます。他にご意見ございますか。

○教育長職務代理者（林職務代理者） 5月7日以降をどうするのかということから考えていきたいと思います。ゴールデンウィーク明けて1週間、さらに1週間を見たとき

に国の方針もございますが5月末日くらいまでは休校延長が必要ではないかと思えます。それから、学力の面ですけれども4月、5月で2ヵ月、さらに3月もやっていますので2.5ヵ月くらいは、授業をしていないということになります。これを夏休みだけでカバーできるのかと言え、おそらく難しいのではと思います。そこで、東先生、能勢先生も言われた登校日を考えることは、理解できます。さらに、学力保障もそうですが成長保障を考えたときには、勉強だけではなく体力面や精神面の手立ても学校として考えていく必要があると思います。さらに、障がいのある子供たちへの支援もみんなで考えていくべき問題であると思います。以上です。

○司会（協部長） ありがとうございます。他にご意見ございますか。

○教育委員（上岡委員） 私も週1日の登校日、中学3年生については、週3日、4日の登校日を設けてほしいというのは、理解できます。命を守ることは、大前提であります。が今までも積み重ねてきた家庭での過ごし方、林先生は、成長保障と言われましたが生活のリズムと学習のリズムを回復してやることも私たちの責任ですので登校日を設けてあげたいと思います。それから、次第に「小中学校等」とありますが「等」の幼稚園については、どのようにお考えですか。

○こども夢づくり課（小野課長） 幼稚園につきましても学校に準じて対応して参ります。預かり保育を継続して参ります。

○司会（協部長） ありがとうございます。他にご意見ございますか。

○教育委員（児島委員） 市長が言われた総社市の教育に対する方向性について2人の校長先生は、夏休みも学校教育をやってもよいという覚悟を言われたのだと思います。先生方からも現状を考えると夏休みを返上してでも子供たちの教育をしていかなければならないだろう、これは、市長が言われたことに対する先生方のお答えだと私は、思います。その中で、今後、5月の連休明け、国の方も多分、5月末日まで再開されることは、私は、難しいと思います。その中で、総社市の学校教育をどうしていくのかについては、井上さんがインターネット教育を教育委員会でどのようにサポートをしていったらよいか、一生懸命やっておられる姿をケーブルテレビで見ました。そういうことも含めて総社市にしかできないことを立ち上げて保護者や子供たちに安心してもらえるようなことができればよいと思います。せっかくこれだけの方々が集まっておられるのでそれぞれの皆さんがご意見を申し上げた方がよいと思います。いかがでしょうか。

○学校教育課（井上課長） 総社独自の取り組みにつきましては、インターネットを活用した授業動画の配信を進めております。また、学校現場の先生たちは、子供たちに学びを届けたい、家庭で子供たちはどんな様子なのか、授業動画を通して子供の学びのやる気スイッチを入れたいという思いで授業のあり方、こういった内容を届けるのか、試行錯誤しながらがんばってくださっています。これは、まさに他市が計画しようとしている中、総社市が先陣を切って果敢にチャレンジできていることだと思います。これがすべての子供たちに届く状況ではございません。インターネット環境にない家庭もございます。そういう子供たちには、工夫をして教材を届ける、あるいは、コンピューター室を開放して利用していただく、できる限りの学びを届ける支援をしていく。これが総社市独自の取り組みです。以上です。

○司会（協部長） ありがとうございます。これまでのご意見を踏まえまして、さらにご意見ございますか。

○教育委員（小鍛冶委員） 私も夏休みを返上して学力保障に充てることは賛成です。週に1日の登校日、中学3年生については、週3日、4日の登校日を設けるという意見が出ました。総社市に感染者が出れば別だと思いますができるだけ命を守ることを前提で週1日と言わず、少しでも可能な限り増やしていただけると保護者の立場としてはありがたいです。

○教育委員（上岡委員） 私も夏休みを返上して学力保障に充てることは賛成です。クーラーをつけるなど環境面は、整っていると思います。期間のことですが5月末日までは、様子を見てもよいと思います。基本5月末日まで休校、登校日を設けることで考えたらよいと思います。

○司会（協部長） ありがとうございます。他にご意見ございますか。今までのご意見ですと、休校の延長については賛成の方のみである。延長期間については、5月22日までという考え方、5月末日までという考え方がありますが、5月末日までというご意見が多かったとお見受けいたします。登校日につきましても登校日を設けてほしいというご意見が大勢を占めています。夏休みにつきましては、夏休みを返上して学力保障に充てるというご意見が多く見られました。あとは、中学3年生の扱いについても検討してほしいというご意見もございました。さらにご意見ございますか。

○教育委員（児島委員） ここで話されたことをまとめたものが子供を通してなのか、

先生を通してなのか、わかりませんが保護者に伝わるような方法を取って、総社市は、今後こうやっていきますので安心して下さいというものを早く伝えてあげることが保護者の立場としては安心できる気がします。

○学校教育課（井上課長） この場は、決定の場ではありませんが、こちらでご協議いただいた内容をどんな形になるのか、保護者宛の通信になるのか、安全、安心そして、学力保障についての考え方を保護者の方に伝えて参りたいと思います。

○司会（協部長） ありがとうございます。他にご意見ございますか。

○次期教育長（久山次期教育長） 中学３年生について一番心配ではありますが県も５月末日まで延長、国も緊急事態宣言が延長される見込みであるという状況では、慎重な協議が必要ではないかと思います。もちろん、中学３年生の学力保障、進路保障による登校日の増加をしないとしたら、替わりをどうするのか、併せて検討をする必要があります。ポータルサイトの充実や課題のチェックの仕方も考えていく必要があります。中学３年生の登校日だけを増やすということは、慎重に協議をしていく必要があると思います。以上です。

○司会（協部長） ありがとうございます。中学３年生の扱いについて登校日の増加以外の方法も考えるべきではないかというご意見が出ました。これらを踏まえまして、他にご意見ございますか。

○教育委員（児島委員） 中学３年生は、何人くらいおられますか。

○市長（片岡市長） ６２１人です。

○司会（協部長） ご意見が出尽くしたようですので、そうじゃ総合教育会議は、閉会とさせていただきます、本日のご議論を踏まえて、教育委員会でご検討していただくということよろしいですか。

○市長（片岡市長） その他ということで私から学校教育課にお願いがございます。総社市では、政府から支給される１人１０万円の給付金について、これを前倒して、５月７日、ゴールデンウィーク明けの日に、立て替え払いで最速で支給することをおこなって参ります。その中で、初動の日（５月７日）に、優先されるべき方を生活困窮者、一人親、家賃を払うことができない方、障がいのある方、倒産や雇止めなどのつびきならない理由において生活に支障をきたしている方に優先的に１０万円をお振込みしたいと思っていますので中学校の保護者、小学校の保護者、幼稚園の保護者、認定こども

園の保護者などについて、これを希望される方を募っていただき、総務部に申請いただければ優先的に対応して参りたいと思いますのでよろしくお願いします。

○司会（協部長） 今の市長からのお話について何かございますか。ないようでしたら本日のそうじゃ総合教育会議は、これで閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午後２時４５分